

ふるさとカフェとは？

「おじゃまして、こんにちは！」

その昔、水運栄えた利根運河近郊（千葉県流山市）から
全国の楽しい人やモノや食文化を発信するのが
「森の中のふるさとカフェ」です。

それぞれタイプの違うお調子者の男子3人が

勝手に“ふるさと”をつくる旅をスタートしました。
ぼくたちが出会った人やマチの文化を えっさ！ほいさ！と
運んで来て、みんなに楽しんでもらう“ふるさとカフェ”。

いつか行きたいなあ、楽しそうだなあ、
そんな気持ちが芽生えたら、みんなの心のふるさとになる。

森の中にある小さなカフェで
ぼくたちが運んでくる“ふるさとのカケラ”を
たっぷりとお楽しみください。



今日のふるさとについて！！

今回のふるさとカフェは長野県の信級（のぶしな）です。人口わずか120人の限界集落。
ゲストには、そんな信級を未来に残そうと盛り上げているのぶしなカンパニー代表の寺島純子さん。
信級出身で出版会社代表の寺島純子さんは、まだ「限界集落」という言葉もなかった頃、
10年20年後にも信級を残そうと、信級で暮らす全世帯の写真を掲載した「写真集のぶしな」を
制作。また、地域おこし事業に取り組む団体「のぶしなカンパニー」を設立し、
「食堂かたつむり」のほか、特産物の販売などを行っています。それぞれができることを
持ち寄り、限界を突破した未来集落をめざし、小さくても誰もが輝ける多様性に満ちた
場所にしたい。そして、次の時代を担っていく人に明るい希望のバトンを渡したい。
それがのぶしなカンパニーです。

今日のゲスト



のぶしなカンパニー

寺島純子さん

今までのふるさとカフェについて

第一回「ふるさとカフェ」では高知県日高村オムライス街道コラボし、特産の
シュガートマトを使ったオリジナルオムライスを販売。また、村役場の方々を
招き、日高村の魅力紹介、リベットボタンの原画展示などが行われました。
「ふるさとカフェ特別篇」では、ふるさとカフェ公開ミーティング。また知的障害児
デイサービス「cocoro」のこどもたちと、リベットボタン音楽授業、そして運河を
ふるさとクリーン作戦！集めたゴミをお花の苗に変えて植える取り組みも！

